



平成 20 年 4 月 9 日

各 位

会 社 名 日 本 特 殊 陶 業 株 式 会 社
 代 表 者 取 締 役 社 長 加 藤 倫 朗
 (コード番号 5334 東証・名証第1部)
 問 合 せ 先 経 理 部 長 堀 田 泰 彦
 T E L (052) 872-5918

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 19 年 10 月 30 日の中間決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 19 年 10 月 30 日発表）	341,000	42,000	44,100	27,700
今回修正予想（B）	345,700	35,000	35,000	22,000
増減額（B－A）	4,700	△7,000	△9,100	△5,700
増減率	1.4%	△16.7%	△20.6%	△20.6%
前期（平成 19 年 3 月期）実績	344,891	52,401	53,855	34,072

（参考）修正後の 1 株当たり予想当期純利益 100 円 27 銭

2. 連結業績予想の修正の理由

売上高は、主として欧州・アジア地区で補修用スパークプラグの出荷が好調に推移したことにより、予想を上回る見込みです。一方、収益面においては、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱による第 4 四半期の急激なドル安が、輸出採算性の低下を招くと共に、外貨建債権の評価の影響も大きくなる見込みとなりました。また、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日）を当連結会計年度末において早期適用することにより、棚卸資産の簿価切り下げ額が 30 億円程度発生する見込みとなったため、平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の連結業績予想を上記のとおり修正します。

3. 平成 20 年 3 月期の個別業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 19 年 10 月 30 日発表）	291,000	26,600	28,900	18,400
今回修正予想（B）	295,200	20,800	21,400	14,400
増減額（B－A）	4,200	△5,800	△7,500	△4,000
増減率	1.4%	△21.8%	△26.0%	△21.7%
前期（平成 19 年 3 月期）実績	306,663	42,653	44,179	28,148

（参考）修正後の 1 株当たり予想当期純利益 65 円 66 銭

4. 個別業績予想の修正の理由

上記、「連結業績予想の修正の理由」と同様、急激な為替相場の変動と「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用により、平成 20 年 3 月期の個別業績予想を上記のとおり修正します。

以 上

（注）これらの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。